

科目名	医療事務 医科 II B						
科目名(英)	Medical office work						
単位数	4単位	時間数	30時間	担当者	土屋 亜生子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年生						
授業概要	窓口でよく尋ねられる費用や制度について適切に対応し、そのために必要な医療保険制度および費用算定の知識を習得する。また保険者に請求する診療報酬について請求の誤りや請求漏れを修正する能力も習得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				患者接遇で必要となる言葉遣いや態度、個人情報の取り扱いなどについて理解し対応できるようになる		
	○				保険者番号などの患者情報、各診療行為の算定条件などを理解し、間違いを認識できるようになる		
	○				カルテとレセプトを突き合わせて点検ができるようになる		
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・医科診療報酬点数表・医科テキスト3(ソラスト)・医科テキスト4(ニチイ)・医科サポートブック・マスターブック(ソラスト) ・医科ハンドブック・レセプト点検攻略ドリル・医療事務技能審査試験受験対策問題集・技能審査試験問題集(実技) 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1.2	授業の概要と諸注意、教材確認、医療事務基礎テスト、検定概要 窓口対応とレセプト点検の基礎知識					
	3.4	実技Ⅱレセプト点検 テキスト症例①外来・②入院					
	5.6	実技Ⅰ、学科 練習①、実技Ⅱレセプト点検 テキスト症例③外来・④入院					
	7.8	実技Ⅰ、学科 練習②、実技Ⅱレセプト点検 テキスト症例⑤外来・⑥入院					
	9.1	実技Ⅰ、学科 練習③、実技Ⅱレセプト点検 テキスト症例⑦外来					
	11.12	実技Ⅰ、学科 練習④、実技Ⅱレセプト点検 テキスト症例⑧外来					
	13.14	学科まとめ、問題集演習①学科・②実技Ⅱ 外来					
	15.16	確認テスト① 学科・実技Ⅱ、問題集演習③ 実技Ⅱ 外来					
	17.18	問題集演習 ④実技Ⅰ・実技Ⅱ⑤学科・⑥実技Ⅱ					
	19.2	受験対策 1-①実技Ⅰ・実技Ⅱ、②学科、③実技Ⅱ					
	21.22	受験対策 2-①実技Ⅰ・実技Ⅱ、②学科、③実技Ⅱ					
	23.24	確認テスト② 学科・実技Ⅱ、受験対策 3-①学科、②実技Ⅱ					
	25.26	受験対策 3-①まとめ・受験指導、②過去問題 実技Ⅰ・学科・実技Ⅱ					
27.28	受験対策 4-①まとめ・受験指導、②過去問題 実技Ⅰ・学科・実技Ⅱ						
29.30	受験対策 5-①まとめ・受験指導、②過去問題 実技Ⅰ・学科・実技Ⅱ						
評価方法	(1)正試験の他に授業中、小テストを2回実施する。(2)授業中の態度も併せて評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	小テスト		○				20%
	出席状況・発表				◎		30%
履修上の注意	2020年1月に日本医療教育財団主催 医療事務技能審査試験を受験します。 忘れ物については貸出等はいりません。各自で準備して授業に臨んで下さい。						

科目名	コンピュータ概論ⅡB						
科目名(英)	computer Introduction						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	植木 浩二郎		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	診療情報管理士科 2年						
授業概要	ITパスポート試験を受験することを基本とし、その課程で習得できる知識を院内業務及び問題解決手法として発揮できる人材を育成する。また、診療情報管理士認定試験の受験対策として必要な知識も身に付けることができる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					コンピュータを使用した効率的な業務改善を行うことができる。	
		○				ITパスポート試験範囲を網羅した知識を身に付け、検定試験合格を目指す。	
		○				問題解決手法を理解し、実際の業務での問題解決の糸口を見つけることができる。	
		○				コンピュータの専門用語を理解しシステム導入や院内システム管理を行う知識を有する。	
テキスト・教材 参考図書	よくわかるマスター ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	ディレクトリ管理とファイル共有			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	ハードウェアの種類について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	ヒューマンインタフェース設計			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	マルチメディア技術とファイル形式			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	データベース構築とSQL			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	データの正規化と共有ロック デッドロックについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	ネットワーク方式について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	Wi-fi プロトコルの種類 ネットワーク応用			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	セキュリティーについて			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	情報セキュリティー実装技術			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	暗号化記述			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	公開鍵暗号化方式および共通かぎ暗号方式について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	SSL通信の仕組みおよびデジタル署名について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	答案練習①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	答案練習②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
評価方法	定期試験の評価 演習問題の評価および提出物・ノートの評価点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○					80%
	小テスト	◎	◎				10%
	宿題・レポート	◎	◎				10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は試験を受験できない						

科目名	Windows演習(Powerpoint)						
科目名(英)	Windows						
単位数	2	時間数	30時間	担当者	田丸 順子		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	診療情報管理士科 2年						
授業概要	正確で早いタイピングを身につける プレゼンテーションソフトPowerPoint2013の基礎から応用までの技能を修得する プレゼンテーション技能検定上級を取得する						
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
			○			手元を見ずに、正確で早いタイピングができる。	
		○				スライドにテキストや図・図表・表・グラフなどのオブジェクトを挿入し、編集できる	
		○				スライドにマスター設定ができる	
		○				スライドやオブジェクトに特殊効果の設定ができる	
	○				プレゼンテーションを配布資料や発表者資料として印刷を行うことができる		
テキスト・教材 参考図書	PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 問題集 (サーティファイ)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	タイピング練習、初級 練習問題1					
	2	タイピング練習、初級 練習問題2					
	3	タイピング練習、初級 練習問題3、練習問題4					
	4	タイピング練習、初級 練習問題4、練習問題5					
	5	タイピング練習、中間課題				学習した内容の復習をしておくこと	
	6	上級 実技練習問題1、テーマ別知識練習問題1				知識問題を解答しておくこと	
	7	上級 実技練習問題2、テーマ別知識練習問題2				知識問題を解答しておくこと	
	8	上級 実技練習問題3、テーマ別知識練習問題3				知識問題を解答しておくこと	
	9	上級 実技練習問題4、テーマ別知識練習問題4、5、6(問題1)				知識問題を解答しておくこと	
	10	上級 実技練習問題4、テーマ別知識練習問題6(問題2)、7、8				知識問題を解答しておくこと	
	11	上級 模擬問題1(知識・実技)					
	12	上級 模擬問題2(知識・実技)					
	13	上級 模擬問題3(知識・実技)					
	14	PowerPoint上級 サンプル問題					
15	PowerPoint上級 検定試験				学習した内容の復習をしておくこと		
評価方法	(1)授業の中で最終課題を実施する。(2)復習用に配布した課題は解答後提出する。(3)平常点として出席や忘れ物状況、授業への参加意欲を成績評価に加味する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	検定試験	○	◎	○			60%
	中間課題	○	◎	○			20%
	平常点				◎		20%
履修上の注意	個人のデータは各自のUSBに保存するので、毎回必ず持参すること。						

科目名	レセプトコンピュータⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高田ゆかり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年						
授業概要	現在ほとんどの医療機関でコンピュータによる医療事務処理(受付業務から保険請求事務)が行われている。医療事務職員には医療事務の知識と迅速かつ正確なコンピュータ技能を総合した能力が求められているため、C&C医事ナビゲーションシステムを使って医事システムを理解し正しい知識を習得し、資格として医事オペレータ技能認定試験の合格を目指す。(9月受験予定)						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○	○			C&C医事ナビゲーションの操作方法を理解する	
		○	○			伝票形式より保険請求に必要な情報を入力し、レセプトを作成する	
		○	○			カルテより保険請求に必要な情報を入力し、レセプトを作成する	
		○	○			医事オペレータ技能認定試験に合格する	
テキスト・教材 参考図書	医事NaviⅢ 操作テキスト・医事オペレータ技能認定問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	医事NaviⅢ 基本操作 外来カルテ例題の入力				予習不要。	
	2	医事NaviⅢ 基本操作 外来カルテ例題の入力				予習不要。	
	3	医事NaviⅢ 基本操作 入院カルテ例題の入力				予習不要。	
	4	医事NaviⅢ 基本操作 入院カルテ例題の入力				予習不要。	
	5	模試Ⅰ 実技問題1・2入力				予習不要。	
	6	模試Ⅰ 実技問題3・4入力				予習不要。	
	7	模試Ⅱ 実技問題1・2入力				予習不要。	
	8	模試Ⅱ 実技問題3・4入力				予習不要。	
	9	模試Ⅲ 実技問題1・2入力				予習不要。	
	10	模試Ⅲ 実技問題3・4入力				予習不要。	
	11	※小テスト模試Ⅳ 実技問題1・2入力				予習不要。	
	12	※小テスト模試Ⅳ 実技問題3・4入力				予習不要。	
	13	模試Ⅴ 実技問題1・2入力				予習不要。	
	14	模試Ⅴ 実技問題3・4入力				予習不要。	
15	※前期正試験 実技問題1・2・3・4入力(90分)				予習不要。		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。(2)定期試験(実技)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎	◎			80%
	小テスト		◎	◎			20%
履修上の注意							

科目名	病院実習(4週間)						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	160時間	担当者	高田 ゆかり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	診療情報管理士科・2年						
授業概要	医療機関の実習では、現場で医療職を仕事としている方たちとともに業務を行います。医療事務職以外にも、医師や看護師、薬剤師の方など様々な職業人とコミュニケーションを取りながら医療事務以外の職種を理解し、働く意義を理解していきます。実習期間中は医療事務員として患者様の対応や院内業務に携わり、仕事の領域を確認していくことを目標とします。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		医療機関について知識を深め、実習病院の医療事務業務を説明できる	
			○	○		社会人としての心構えを身に付け、患者様の対応ができる	
		○		○		業務指示を受けて、対応することができる	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1週目 ・実習先の組織体を知る				実習指導者の指示を守る 個人情報の取り扱いには細心の注意を払う	
	2	・実習配属先の役割や業務内容を知る					
	3	第2週目 ・患者様に対して、状況に応じた対応ができるように実践する				実習指導者の指示を守る 個人情報の取り扱いには細心の注意を払う	
	4	・職員に対して、状況に応じた対応ができるように実践する					
	5	第3週目 ・問診票について、患者様に記載説明を行い対応することができる				実習指導者の指示を守る 個人情報の取り扱いには細心の注意を払う	
	6						
	7	第4週目 ・外来受付、診療録の運用管理や診療内容を理解し、患者様を対応				実習指導者の指示を守る 個人情報の取り扱いには細心の注意を払う	
	8	できること					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1) 毎日の実習行動を日誌に記録する (2) 授業で説明されたことを理解し、自ら考え、主体的に取り組んでいる姿勢がある (3) 実習評価で評価する						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習発表会						
	個人票						
	プリント						
	参加意欲・授業態度				◎		50%
	実習記録表提出		○		◎		50%
履修上の注意							

科目名	就職実務ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	高田 ゆかり		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	診療情報管理士科 2年						
授業概要	就職に向けて意識を高める。学んできたことを土台とし、何ができるか、どのような人材になりたいかをつかむ。 社会で必要とされる人材とは なぜ働くのか 必要とされるスキルとは について学ぶ						
授業形式	講義: ◎	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				就職に対する意識を高める	
		○				就職活動の方法を学ぶ	
		○				学校の就職活動規則を学ぶ	
		○				身だしなみのチェックと服装規定を学ぶ	
				○		求職票受付面接の標準的内容を理解する	
テキスト・教材 参考図書	・就職ガイドブック、配布プリント他						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション					
	2	働く目的について					
	3	会社(医療機関等)を理解する					
	4	本校の就職システムについて					
	5	必要書類、服装について					
	6	服装チェック					
	7	自己分析①					
	8	自己分析②					
	9~10	就職活動の方法					
	10~15	求職票受付面接について					
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・課題提出状況 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				◎		70%
	授業態度				◎		20%
	課題提出状況					◎	10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位未取得となる						

科目名	臨床医学各論V・VI・VIII						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	小嶋 伸夫		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年						
授業概要	生命の維持に直接関わる呼吸器・循環器系、腹部に位置する各種臓器(消化器系・泌尿系)、身体の形態、運動器に関わる骨、筋肉、関節等などの疾病について、その特徴、症状・所見、診断法、治療法の概要を学び、各種診断記録の記載などを理解し、適切な病歴診断名につなげる知識の習得を目的とする(8章・9章・11章)						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					呼吸器・呼吸器系の疾病について、特徴、症状・所見、診断法、治療法を学び適切な病歴診断名につなげる知識を習得する	
	○					腹部に位置する各種臓器(消化器系・泌尿器系)、疾病について、特徴、症状・所見、診断法、治療法を学び適切な病歴診断名につなげる知識を習得する	
	○					身体の形態、運動器に関わる骨、筋肉、関節等などの疾病について、特徴、症状・所見、診断法、治療法を学び適切な病歴診断名につなげる知識を習得する	
テキスト・教材 参考図書	診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 基礎・医学編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1～3	循環器系の疾患—心臓疾患			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4～7	循環器系の疾患—血圧異常			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8～10	呼吸器系の疾患—感染症			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11～12	呼吸器系の疾患—呼吸不全			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13～14	呼吸器系の疾患—換気障害			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15～17	消化器・泌尿器系の疾患—消化管疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18～20	消化器・泌尿器系の疾患—肝臓・胆嚢・膵臓疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21～22	消化器・泌尿器系の疾患—腎臓疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23～24	消化器・泌尿器系の疾患—泌尿器系疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25～26	筋骨格系の疾患—運動機能			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25～28	筋骨格系の疾患—筋肉の疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	29～30	筋骨格系の疾患—骨の疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業態度・意欲 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		◎		100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	保険医療情報学 医療統計学Ⅰ 医療統計学Ⅱ						
科目名(英)	computer Introduction						
単位数	2	時間数	60時間	担当者	植木 浩二郎		
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	診療情報管理士科 2年						
授業概要	医療における意思決定は診療情報に基づいて行われる。診療情報管理士は、診療記録の管理だけでなく、診療記録に含まれる診療情報を活用し、医療施設、医療職、患者、さらに医療政策を支援し、医療の質向上に寄与することが求められている。そこで、この授業では診療情報を活用するための基礎として統計処理の基礎知識、根拠に基づいた医療、データ処理の実際を学び、診療情報管理士に求められる診療情報のクオリティマネジメントの考え方を身に付けることを目的とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	目標						
	○				コンピュータを使用した効率的な業務改善を行うことができる。		
	○				院内情報システムの構築に関する知識を身に付ける。		
	○				平均在院日数や病床回転率など院内情報の解析を行う知識を身に付ける		
	○				情報処理技術に長け、データベースから必要な情報を取り出すことができる。		
テキスト・教材 参考図書	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 日本診療情報管理学会生涯教育委員会編、診療情報管理士のためのやさしい医療統計学						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	保険医療情報学とは			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	医療情報の特徴と種類			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	行政が進める保険医療の情報化政策			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	医療情報システム			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	医療情報の二次利用			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	個人が管理する保険医療記録			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	医療情報の標準化			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	情報セキュリティー			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	保険医療の情報化のこれから			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	確認テスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	医療統計方法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	データの要約(記述統計学の方法)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	統計学的推測の基礎			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	統計的仮説検定			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15	仮説検定に伴う2種類の誤り			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	16	よく使われる検定手法			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17	2つの量的変数の関係			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	18	データのグラフ表現			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19	データの視覚化と各種グラフとその要素			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	20	病院の統計資料について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21	病院統計の作成とその意義について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	22	主な統計調査と評価指標			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23	主な医療評価指標			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	24	経営管理指標			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25	臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	26	コホート研究と症例対照研究①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	27	コホート研究と症例対照研究②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	28	人を対象とする医学研究に関する倫理指針①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	29	人を対象とする医学研究に関する倫理指針②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	30	確認テスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
評価方法	定期試験の評価 確認テスト2回の評価 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	確認テスト	◎	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は試験を受験できない						

科目名	国際統計分類Ⅱ－①						
科目名(英)							
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	堤 康英		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	診療情報管理士科2年						
授業概要	人体構造(解剖生理)、医学各論等で学習した知識を生かし、国際統計分類Ⅰの学習と関連付けながら、ICD-10の各章に沿った疾病分類体系を学習し、その特徴を踏まえて統計として正しい分類ができるよう理解を深める。また、退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主傷病等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各章の分類体系およびその特徴と留意事項を理解する	
	○					退院時要約や死亡診断書などによる総合学習で正しいコードを選択することができる	
テキスト・教材 参考図書	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅰ 基礎・医学編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1～2	国際疾病分類の基本－コーディングを始めるにあたって			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3～4	国際疾病分類の基本－ICD－10（2013年版）準拠の概要			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5～6	国際疾病分類の基本－「国際疾病分類」編さんの基準とその特徴			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7～8	国際疾病分類の基本－「内容例示表」と「索引表」の使用方法			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9～10	国際疾病分類の基本－複数病態分類、複合病態分類および二重分類			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11～12	国際疾病分類の基本－「内容例示表」と「索引表」で用いられている表示記号と符号			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13～14	国際疾病分類の基本－用語の定義及び傷病名の構成			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	15～16	国際疾病分類の基本－傷病名のコード索引方法の解説			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	17～18	国際疾病分類の基本－コーディング支援ソフトウェアの利用			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	19～20	各章の疾病分類体系の理解－感染症及び寄生虫症			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	21～22	各章の疾病分類体系の理解－新生物			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	23～24	各章の疾病分類体系の理解－血液および 造血器の疾患並びに免疫機構の障害			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	25～26	各章の疾病分類体系の理解－内分泌、栄養および代謝疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
27～28	各章の疾病分類体系の理解－精神及び行動の障害			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
29～30	各章の疾病分類体系の理解－神経系の疾患			前回の復習および教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業態度・意欲 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎		◎		100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						